

# もたに 母谷たつりのり後援会だより

平成13年4月  
発行 母谷たつりのり後援会  
編集 岡田 孝

謹啓

予想された暖冬とはうらはらに厳しい寒さを乗り越えて外は桜の花が満開となり、晴れわたった青い空と白い雲が春の訪れを告げています。

皆様方におかれましては、新年度を迎えられる、新たな職場や環境での生活が始まったこととご推察申し上げます。

しかしながら、3月24日午後3時28分頃突如として広島を襲った平成の芸予地震は、震度5（マグニチュード6.4）という経験したことのない強烈なものでありました。幸いにも被害は最小限に留り、胸を撫でおろしておりますが、不幸にも被災されました皆様方に対しては心よりお見舞い申し上げます。

さて、平成13年第1回定例会は2月13日招集告示がなされ、2月20日開会いたしました。会期は、2月20日から3月27日までの36日間とすることが決定されました。

初日当日は報告・専決処分5件、監査報告1件（平成12年度工事に関する行政監査）、検査報告3件（平成12年10月～12月出納検査）および平成12年度包括外部監査結果報告が行われ、議案としては平成12年度関係では18件、平成13年度関係では63件が提案されました。

冒頭秋葉市長は、「新たな世紀を迎え21世紀を『広島の時代』にするため、市政の推進に全力を挙げて取り組んでいきたい」と述べ、以下に示す7つの柱を中心に新年度予算を策定したと説明を行いました。

1. 「平和をつくりだす、世界に開かれた都市の創造」



予算特別委員会（経済・環境関係）で質問する母谷議員

2. 「環境と共生する都市の創造」
3. 「安全で、快適な美しい都市の形成」
4. 「健康で、幸せに暮らせる社会の形成」
5. 「豊かな人間性をはぐくみ、人が輝く社会の形成」
6. 「活力ある広島経済の創造」
7. 「多様な活動と交通を支える活力ある都市の創造」

以上の施策を中心に編成した平成13年度の当初予算規模は、一般会計で5,659億9,889万5,000円（対前年比▲1.6%）、全会計（企業会計、特別会計、事業会計を合わせた）では、1兆1,169億5,557万8,000円（対前年比プラス0.1%）となりました。

また、平成12年度関連の諸議案は、一般会計補正予算案など18件であり、全会計を通じて85億3,532万2,000円の補正予算額となり補正後の予算規模は、1兆1,288億8,593万3,000円となりました。また、広島市条例の一部改正案など8件の議案も提出

され、平成12年度2月補正予算案は2月20日～3月2日まで総括質問や討論を行い原案可決いたしました。

続いて本会議終了後、新年度予算特別委員会が開催され、3月6日から3月27日まで本格的予算審議を行うことが決定されました。

また、21世紀初年度に際し『国際平和文化都市ひろしま』として歩みつづけていく上で、政治、経済、文化、教育、環境、福祉など数えあげればきりがなほど問題は山積しておりますが、3月17日には広島市留学生会館が、4月11日には紙屋町地下街「シャレオ」がオープンし、夢と希望のもてる話題もあり『明るく元気で魅力あるひろしま』の実現に向けさらに渾身の力を傾注して参りますので今後ともご指導・御支援の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

広島市議会議員 母谷 龍典

## 平成13年

## 第1回広島市議会定例会予算特別委員会審議日程

- |             |         |
|-------------|---------|
| 3月2日～3月5日   | 議案調査研究  |
| 3月6日        | 文教関係    |
| 3月7日～3月8日   | 厚生関係    |
| 3月9日～3月12日  | 経済、環境関係 |
| 3月13日～3月14日 | 建設関係    |
| 3月15日～3月16日 | 総務関係    |
| 3月19日       | 上下水道関係  |
| 3月20日～3月26日 | 取りまとめ   |
| 3月27日       | 本会議     |

平成13年度予算に関する特別委員会は、3月2日第1回目の会合を開き、委員長、副委員長の指名と審議日程を確認し、3月6日から本格的な予算審議に入りました。しかし秋葉市長は急性へんとう炎のため初日から欠席し、審議3日目の3月8日には午前中予算審議が空転しました。

『予算案を提案した市長本人が審議する場所にいないとは言語道断』との意見もありましたが、4日目以降は出席し順調に進みました。なお、開会から3日間、市長が欠席したことに伴い、市長に対する集中審議が3月19日、上下水道関係の審議後別途設定されました。

# いい汗流そう!! いい笑顔つくろう!!

# 大型ごみ収集の申込み・排出方法

### 1. 電話申込み

大型ごみ受付センター ☎544-5300

- 受付時間  
月曜日～金曜日 9:00～18:00  
(昼休みも受付可。)
- 休み  
土曜日、日曜日、祝祭日  
(振替休日含む)  
年末年始(12月29日～1月3日)及び8月6日
- 申込期限  
受付センターの休みを除き、  
収集日の3日前まで

※電話での申込みが困難な方については、ファクスによる申込みを受付けます。

**FAX 544-5301**

### 2. 収集日、排出場所等の確認

- 住所、氏名、電話番号、収集品目、数量、希望収集日の確認
- 家具の場合、リサイクル可能かどうかの確認
- 排出場所、収集運搬手数料、受付番号の確認

（手数料：250円、500円、750円、1,000円、1,250円、3,000円）

- 納付券(シール)の販売場所の確認

### 3. 納付券(シール)の購入

- コンビニエンスストア・スーパー等で、納付券(シール)を購入してください。
- 納付券は、「250円券」と「1,000円券」の2種類があります。

※納付券が張られていない大型ごみは収集できません。

### 4. 排出・収集

- 収集日の当日の朝(8時30分までに)、指定の場所(受付けの際に説明を受けた場所)に出してください。
- 納付券(シール)に氏名又は受付番号を記載し、排出しようとする大型ごみに張り付けてください。

※家電リサイクル法の対象となる家電4品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機）は、まず家電販売店へ引取りを依頼してください。

※申込みの取り消しを行う場合は、必ず大型ごみ受付センターへ電話してください。

※大型ごみの排出場所は、通常、家の前の路上等となりますが、以下のとおり、異なる場合がありますので申込み時に必ずご確認ください。ご協力をお願いします。

①マンションなどの集合住宅の場合は、当該住宅のごみ置き場。

②家の前が狭い道路などで収集車が通れない場合は、大型ごみ受付センターで打合せした場所。

※納付券の領収書は、収集が終わるまで、大切に保管しておいてください。（確認をお願いする場合があります。）

## 佐伯区の主な当初予算

平成13年度の佐伯区における当初予算総額は、140億3,044万7千円となっており、その主なものは以下のとおりです。

局	事業名	予算額	説明
社会	民間老人福祉施設整備補助金	1億5,286万5千円	「五日市あかり園」新設（特別養護老人ホーム、通所介護施設<デイサービスセンター>、介護利用型軽費老人ホーム<ケアハウス>合築） 1億2,299万4千円 特別養護老人ホーム「陽光の家」等借入金償還補助 2,987万1千円
	民間保育所整備補助金	9,977万6千円	ひまわりいしうち保育園新設 9,860万5千円 五日市乳児保育園借入金償還補助 117万1千円
	五日市火葬場改築	4億980万2千円	造成工事、建設工事その他
経済	農林業基盤整備	2億1,050万円	農業用施設整備 1億2,250万円 農道整備（大杉農道ほか） 4,000万円 水路整備（小林水路ほか） 6,210万円 ため池整備（入の谷ため池ほか） 540万円 県施行農業用施設整備事業負担金（災害関連） 1,500万円 林道整備（西平次林道ほか） 8,800万円
	県施行五日市漁港フィッシャリーナ整備事業負担金	5,006万7千円	フィッシャリーナ整備
都市計画	公園緑地等整備	6,374万5千円	街区公園 4,050万円 坪井第二、竹之内第一 一般整備 2,324万5千円
整都市	道路整備	7億3,800万円	西風新都外環状線（6-2工区）
道路交通	都市計画街路整備	7億7,500万円	吉見穴の口線 500万円 畑口寺田線 4億9,400万円 駅前線 1億8,400万円 寿老地中地線 7,700万円 用地先行取得 1,500万円
	道路整備	17億4,226万9千円	佐伯1区36号線（河内地区） 150万円 佐伯3区175号線（倉重地区） 2,200万円 佐伯4区347号線（八幡橋関連道路） 1,800万円 梶毛神原線 3億7,600万円 五日市筒賀線（古野バイパス） 3,900万円 一般整備 3億6,150万円 道路法面改良 1億円 災害復旧関連 3億2,300万円 事業用地取得 3億7,526万9千円 用地先行取得 1億2,600万円
	交通安全施設整備	3億8,470万円	佐伯4区未新開佐方線歩道改良 3,000万円 国道2号（佐伯区役所前）歩道改良 1億2,600万円 佐伯4区179号線（JR五日市駅前）横断歩道橋新設 1億2,000万円 五日市停車場線（藤垂園交差点）交差点改良 6,000万円 道路交通安全施設 4,120万円 福祉環境整備 750万円
	橋りょう整備	8,000万円	門前橋 6,800万円 倉重橋 1,200万円
教育	小学校整備	1億3,319万1千円	外壁改修 5,575万円 八幡東、八幡 八幡小学校下水道本管接続 1,200万円 福祉環境整備 1,560万4千円 一般整備その他 4,983万7千円
下水道	公共下水道整備	54億7,433万5千円	管きょ布設 52億9,550万円 五日市地区ほか 26,387m ポンプ場整備 1億7,883万5千円 海老橋ほか2か所
	急傾斜地崩壊防止対策	1億750万円	屋代三丁目地区ほか12地区
水道	排水施設整備	10億9,043万7千円	藤の木ポンプ所ほか6か所 5,453万4千円 排水管布設 10億3,581万3千円 五日市地区ほか 15,643m

## 予算特別委員会における母谷議員の質問抜粋

## ＜厚生関係＞

**Q** 今回新たに病院事業局を設置することになっているが、広島市民病院や安佐市民病院はその組織内に整備されるが、舟入病院や（仮称）安芸市民病院の扱いはどのようになるのか？

**A** 広島市民病院と安佐市民病院は地方公営企業法の全部適用、舟入病院は、その一部適用、（仮称）安芸市民病院は一部適用かつ公設民営とそれぞれ異なる形態の市民病院が混在しているので、先ず広島市民病院、安佐市民病院を再編し、企画、人事、予算等の事務を新設する病院事業局に一本化し、管理・運営を一体的、効率的に行うこととした。

また、舟入病院や（仮称）安芸市民病院の管理運営は当面社会局において担当し、将来的には、4つの病院を一体的に管理運営できるよう検討していく。

**Q** 医療ミスは絶対あってはならないことであるが、不幸にして起こった場合、その対応を全て医師が行っていたのでは、本来の業務に支障をきたすことになり、損害賠償等法的な問題も発生する場合もあることから、顧問弁護士等専門家を配置し、対応することが必要ではないのか？

**A** 現在、市民病院で医療事故が発生した場合、先ず医師等により、患者さんや家族に事実関係を十分説明するとともに、県医師会の医療事故対策委員会へ審議を依頼し、的確な判断を仰ぐこととしている。

また、裁判となった場合、医療事故対策委員会の弁護士に委任し、早期解決を図れるよう努力している。しかしながら医師等が弁護士に相談できる環境づくりや、日常の業務に支障が生じることのないよう、環境を整備することは必要であることから、今後顧問弁護士を置くことについて研究して参りたい。

## ＜経済・環境関係＞

**Q** 「カキ」は広島県の食文化を代表する食べ物であり、全国的な知名度やシェアも大きいことから、現在広島湾近郊で個別にかき祭りが行われているが、こ

れらを統合し、広島市に賑わいや活気のある日本一大規模な『広島カキ祭り』に発展させることはできないか？

**A** 「カキ」イベントは現在、漁業協同組合、市町単位で県内17箇所で行われている。これらのイベントは、いずれも地域に密着したイベントとなっているため、統合することは困難と考えるが、新たに大規模な「カキ祭り」を創設することは本市への賑わいをもたらす、この祭りの情報を全国に発信することにより、広島カキの名声をさらに高めることが期待できるなど有意義なことと考えている。今後、関係漁業協同組合、関係自治体等と新たな『かき祭り』について協議検討して参りたい。

**Q** ゴミ収集体制について、昨年の予算特別委員会で財政再建の観点からも、直営を民間委託にすべきであると質問したが、その後、ゴミ収集体制検討委員会の状況はどうなっているか？

**A** 直営のゴミ収集体制を効率化するため、当面2人乗りを進める上で想定される問題点を整理し、労使双方で対応策を検討しているところである。労働組合としても、ゴミ収集作業を効率化することについての認識は持っており、具体的な問題点の解決に向け慎重に協議を行っている。

また、平成11年度の新規採用時から、その一部を臨時職員に切り替えるなど採用抑制を行っており、2年間で15人のゴミ収集担当職員を削減している。

## ＜建設関係＞

**Q** 広島市は「国際平和文化都市」を標榜しているが、この理念を平和大通りリニューアル事業の中でどのように盛り込んでいくのか？

**A** 平和大通りは、平和都市ひろしまの貴重なシンボル空間であるため、市民はもとより広島を訪れる世界中の人々が憩い、交流できる場となるよう、21世紀にふさわしい、魅力ある空間としてリニューアルする基本計画づくりを進めている。

**Q** 広島市は現在6つの都市と、姉妹・友好都市縁組を結んでいるが、リニューアル計画の中でこの都市名を平和大通りの交差点の名称として命名できないか？

又、その交差点を、その都市や国の雰囲気が出せるような整備はできないか？

**A** 人物、文化、教育、経済、技術などの交流を通じて国際親善ならびに世界平和を進める上で、姉妹・友好都市名を交差点の名称として命名することは国際交流の推進、また平和を創り出す空間としてアピールする方策のひとつであり、これらの都市を身近に感じられ、国際交流の観点からも有意義であり、主要交差点については、その都市の雰囲気が出るようそれぞれ特徴をもった個性的な整備内容にしたいと考えている。

## ＜教育問題＞

**Q** マルセル・ジュノー博士は、原爆投下直後に医薬品15tを持って広島入りし、自らもその治療にあたり、瀕死に喘ぐ10万人の負傷者に対し人道的観点から、愛の手を差し伸べた広島の大恩人であると思うが、どのような認識をもってらるか？

**A** 調査団引き揚げ後も広島に残り、自らも被爆者の治療にあたるなど、被爆者の救護に人道的立場から尽力され、数多くの被爆者を救ったという大きな功績を残された方と認識しており、広島にとって大恩人と受け止めている。

**Q** 大恩人であるジュノー博士に対して、十分な顕彰やその功績を讃えることがなされていないと思うがどうか？このようなことで、国際社会の信頼は得られるのか。

**A** ジュノー博士の功績を引き継ぐため、広島市発行の①広島原爆戦災誌 ②広島新史 ③ヒロシマ読本などにその功績を記し、原爆資料館の常設展示の中でも紹介している。昭和37年に名誉市民の制度が出きるまでに亡くなられた方には、十分な顕彰ができていないこともあり、今後個々具体的にどのようなことができるのか、真剣に検討させていただきたい。